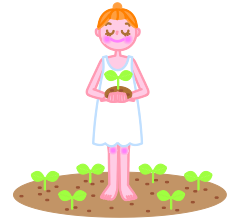


Only one

～ 子どもの「生きる力」を育む家庭教育 ～



今年度のテーマは「育てる」です

2019年7月

発行：能代市教育委員会生涯学習・スポーツ振興課

OnlyOne
Column

「子どもたちが生きる未来社会とは？」

能代市社会教育指導員 佐藤 清美

平成最後の年となった昨年度は、「人生100年時代に生きる子どもたち」と題して、情報提供を行いました。令和元年度の第1号は昨年度の続編として、子どもたちが生きていく10年後20年後の未来社会について思いを巡らしてみたいと思います。

平成から令和となり、新しい時代が幕を開けましたが、はたして令和という時代はどのような世の中になるのでしょうか。自分自身のこととしてももちろん、子育てをしていくうえで、未来の社会がどのようなものなのかを想像することはとても大事な事だと思います。

オックスフォード大学のオズボーン准教授は今後10～20年で現在の仕事の47%が自動化（ロボット化）され、大学生の50%は今はない職業に就いているだろうと述べて、注目されています。彼は、単純作業や答えが分かっている分野の労働はすべてロボットが行うようになるだろうと予想しています。

すでに、駅の自動改札や洗濯機、自動運転の自動車など身の回りは急速に自動化が進んでおり、ますます加速するであろう事は容易に想像できます。

また、社会全体が、外のものへの依存から、内なるものをコントロールする自立と自律が求められる時代へと移行していきたくていわれています。

例えば、医療の世界を見ると、疾病に対する不安が感染症などの外因性の疾病よりガンなどの内因性のものへと移行し、細菌との闘いから生活習慣との闘いに移行しています。実際に死因も外因性よりも内因性の方が圧倒的に多くなっているそうです。

人々の社会的存在も、組織への帰属から社会的な自立へと変化（自分の潜在能力を新たに見出しつつ常に新しい自分へと変化し続ける存在のあり方を日常的に獲得する事）するだろうと予想されています。

これまでの競争と強いリーダーシップを基本とする社会ではなく、協働と対話による新たな価値の不断の生成が求められる社会の到来。1つの価値が全ての人々に共有されその価値に基づく競争で発展する社会から、多様な価値観が人々を覆い、常にその価値を組み換え、変化し続ける（多様な価値観の衝突→話し合い説得し、受け入れ・・・納得解を生み出す）ことで、活力が生まれ続けるような社会になっていくのではないのでしょうか。

シングルステージ（1つの仕事）からマルチステージ（2つか3つの仕事をかけ算して生きる）へ、人生の多毛作化への移行も進んでいくでしょう。

子どもたちが生きていく未来は、今まで以上に多様化が求められ、変化の激しい社会になると予想されているようです。

未来の社会の有様を想像してみました。参考にいただければ幸いです。



おすすめの1冊

能代市立図書館所蔵の「子育て・家庭教育に関する本」のなかから、司書選りすぐりの1冊をご紹介します。



『ママのアンガーマネジメント 8つのマジック』 / (合同出版)

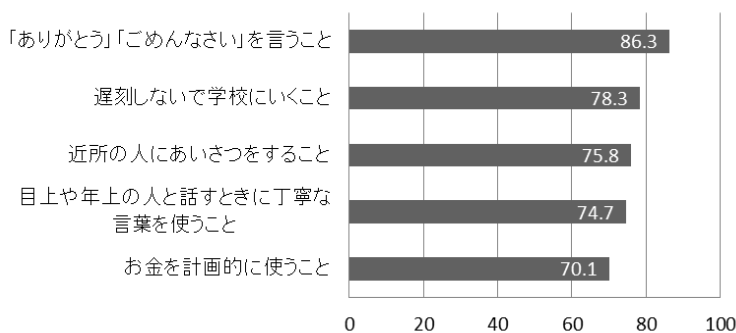
怒り方には、コツがある！自分のタイプを知って、後悔しない怒り方を学んでみませんか。アンガーマネジメントとは、怒りの感情をコントロールする方法のひとつです。子育て中のイライラや怒りの感情に振り回されず、自分の思いを相手に伝えることで自分自身の気持ちも楽になります。

怒りを感じたときに実践できる8つの方法もぜひお試しください。

データでみる家庭教育

子育てや家庭教育に関するデータを取りあげます。「今」がわかり、子育てのヒントになるかも？

保護者からみた生活スキルの重要度 （「必ず身につけておくべきである」と答えた割合）

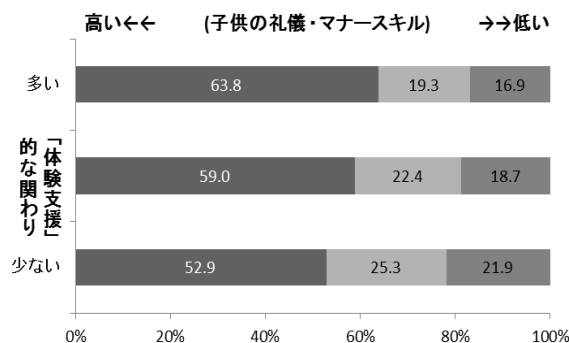


これは、子供の「生活スキル」が、体験活動や生活環境、保護者の子供との関わり等とどのように関係しているかという調査です。保護者が身につけるべきと思っている生活スキルは「礼儀・マナースキル」が多くなっています。

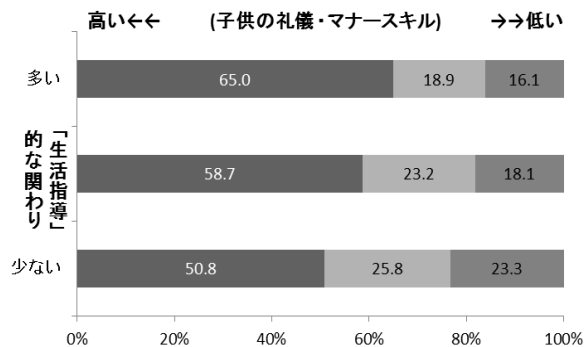
また、保護者が「勉強以外の様々なこと」など体験を積極的にさせている「体験支援」的な関わりをしていたり、「学校のない日にも早寝早起きをさせている」など生活習慣を身につけさせることに力を入れている「生活指導」的な関わりをしているほど、その子供の礼儀・マナースキルが高いという結果が出ています。

そして生活スキルが高いほど、学校生活が充実しており自立に対する意識も高いということもわかりました。子供に生活スキルを身につけさせたいと思ったときは、一緒に様々な体験をしたり、生活習慣を見直してはいかがでしょうか。

保護者の「体験支援」的な関わりと 子供の礼儀・マナースキルの関係



保護者の「生活指導」的な関わりと 子供の礼儀・マナースキルの関係



国立青少年教育振興機構「子供の生活力に関する実態調査」

困ったときには…

子育てで困ったときや、相談したいことがあるとき、下記の相談先へぜひご連絡ください。親身になってお答えいたします。

能代市子育て支援課 家庭児童相談 TEL89-2955

めんchocoてらす TEL89-2948

能代市子育て支援センター TEL 能代：52-8115 / ニツ井：73-3111

能代市教育相談（風の子電話）TEL89-1616

乳児は 肌を はなすな
 幼児は 手を はなすな
 少年は 目を はなすな
 青年は 心を はなすな

☆ 通信に関するご意見やご感想、家庭教育に関するご相談等は、下記までお気軽にお寄せください。

能代市教育委員会 教育部生涯学習・スポーツ振興課 〒018-3192 能代市ニツ井町字上台1-1

TEL:0185-73-5285 / FAX:0185-73-6459 / E-mail:shou-supu@city.noshiro.lg.jp